

『Mind Charging』

第 229 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 3 月 6 日

小栗旬の名言



青臭くたって、それが等身大の俺。

この言葉からも感じますが、“アウトロー”というイメージが強い小栗旬さんの言葉です。俳優(芸能人)という厳しくもあり奇抜な世界で勝負するためには“自分の色”を持つことが特に必要なことだと思いますし、それを押し通すことによって自身が確立されるという部分もあると思います。

彼の言葉で他にも印象に残っているものがあります。『20代前半はどうしても人生経験において理解できないことがいっぱいありました。今この年齢になっても理解できないこともありますけど、あの頃よりはかみ砕けるようになっていくかなと思います』というものです。この言葉からも“等身大の自分”を感じますし、“それでいい”というメッセージに感じます。

彼の言うように、年齢を重ねれば重ねるほど人生経験が豊富になり、“かみ砕けること”は増えていきます。ただ、それを必要とすることも増えていきます。しかし、日々を過ごしていく上で様々なことを同時進行していかなければならないため、一定の理解を得られるまでそこに専念するということができないことから“一旦保留”を選択せざるを得ません。それは、すなわち『我慢(ストレス)』を意味します。“それが大人だよ”と言われると、高校生であるみなさんは近い将来に絶望してしまいそうですが、私はそういう意味でも『今』が大切だとみなさんに伝えたいです。これから様々な経験を積み上げることで、みなさんは自分の処理速度を上げることや高いストレス耐性を手に入れるでしょう。少々の問題であれば、事前に対処さえできるようになると思います。しかし、それでも本当に辛いことや納得のいかないことがみなさんの前に立ちはだかると思います。そんな時に寄り添ってくれる“仲間”は、経験不足の中で様々な問題に対峙している今のうちにしか作れないのではないのでしょうか。

人は肉体的には“老い”がありますが、気持ちは常にエネルギーでいられるはずで、今は解決できない問題も、きっと努力を重ねる中で解決できるようになります。今後の自分に期待して今を受け入れることも“等身大”と言えるのではないのでしょうか。仲間と力を合わせてひとつずつ課題をクリアしていきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

小栗 旬(おぐり しゅん、1982年12月26日 -)は、日本の俳優、映画監督。東京都小平市出身。トライストーン・エンタテイメント所属。左利き。父は舞台監督の小栗哲家、母はクラシックバレエ教師。兄は演出家(元俳優)の小栗了、ほかに一般人の姉がいる。妻はモデル、女優の山田優、義弟は俳優の山田親太朗。(Wikipedia 参照)